

平成 17 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 オリンパス株式会社
 代表者名 取締役社長 菊川 剛
 (コード番号 7733 東証・大証第 1 部)
 問合せ先 経理部長 川又 洋伸
 (TEL . 03 - 3340 - 2111代)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 1 月 31 日の第 3 四半期決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

連結業績予想の修正について

- 1 . 平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想 (A)	830,000	34,500	23,000	13,500
今回修正予想 (B)	813,000	26,500	13,500	10,000
増減額 (B - A)	17,000	8,000	9,500	23,500
増 減 率	2.0	23.2	41.3	-
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期)	633,622	62,997	55,829	33,564

(参考) 1 株当たり予想当期純損失 37 円 94 銭

(注) 前回発表予想の営業利益は、平成 16 年 11 月 8 日公表の連結業績予想値と同一です。

2 . 修正の理由 (連結)

映像事業において、一部のデジタルカメラ市場で成長の鈍化が見られると共に、競合環境も非常に厳しい状況となりました。当社では拡販に努め、前年並みに世界シェアを確保致しましたが、市場の伸びが当初の予測に届かず、売上・利益共に前回見通しを下回る見込みです。主力事業である医療事業・ライフサイエンス事業・産業事業は堅調に推移しましたが、残念ながらこうした映像事業の状況を補うには至りませんでした。

また、映像事業の建て直しを加速するため、見込まれる追加引当などを今期に実施すると共に、保守的に繰延税金資産を一旦取り崩し、当期純損失を計上する見込みです。

業績予想（単独）の修正について

1．平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回発表予想（A）	260,000	-	0	1,000
今回修正予想（B）	259,000	2,500	1,500	1,500
増減額（B - A）	1,000	-	1,500	500
増 減 率	0.4	-	-	50.0
（ご参考） 前期実績（平成 16 年 3 月期）	425,184	21,538	24,299	20,460

（参考）1 株当たり予想当期純利益 5 円 69 銭

2．修正の理由（単独）

当社の主力事業でありますライフサイエンス事業及び産業事業につきましては、概ね見込み通りの売上高を確保しております。平成 16 年 10 月に子会社に分社した映像事業の売上高が伸び悩んだことから、映像分社から受取る技術ロイヤルティ収入が減少したため、微減収となります。また、営業利益及び経常利益は、前述した技術ロイヤルティ収入の減少と販売費及び一般管理費の増加等により、営業赤字となる見込みです。

一方、特別利益に子会社株式売却益や固定資産売却益を計上することから、15 億円の当期純利益を確保できる見通しです。

以 上